

たん生日には「ホヤ」

米崎小学校 二年 佐々木 恵利佳

わたしは、九月に生まれました。九月生まれは、友だちといっしょなのでとても気に入っています。でもたん生日がきても、あまり楽しくないことがあります。わたしには、どうしても食べられないものがあります。それは、ケーキです。ケーキは、大のにかまなものです。また、わたしには、大こうぶつがありません。おたん生日には、自分の好きなものを

2

をりりエストすることかできません。だからちよっぴり、たん生日は、楽しくないので、でも、今年のたん生日は、ちよっぴり楽しみなことができました。それは、大すきな「ホヤ」が食べられるかもしれないからです。「ホヤ」を見たのは、お母さんと夕食のいちゃんびをしていた時でした。イボイボでオシンジ色をしたものを大きなほうちようをつかして、お母さんは二つにわけていました。マシゴーにしています。海のおいがします。



形は、でんきゅうのようです。二つにわった  
 あとは、手をつかっで中みをとりに出します。  
 外がわよりもうすいオレンジ色ですが、黒っ  
 ぽいところや、ぐにゃぐにゃしたところもあ  
 りました。わたしは、  
 「それは、なあに。少しちようだい  
 しお母さんに言うよ、  
 「これは、ホヤっという食べ物ものだよ。恵利  
 佳に、食べられるかな。  
 と言っで細く切ったホヤをさらにのせました。  
 わたしは、口に入れました。びっくりしまし  
 た。とてもおいしいのです。夕食は、はいめ  
 てごはんを二回おかわりすることができまし  
 た。ホヤのおかげではじめてたくさんのごは  
 んを食べることができました。  
 た人生日が近くなると、小さいころのこと  
 を思い出します。小さい時、おねえちゃん、  
 おにいちゃんには、ミルクをたたくさんのんで大  
 きくなつたそうですが、わたしは体いゅうが  
 ふえないと、心ほいされたそうです。また、



おねえちゃん、おにいちゃんは、一才のたん  
生日がくる前に歩きました。わたしは一才  
すぎてから、やっと歩いたそうです。すきな  
食べものや、せい長のしかたがわたしだけち  
がっているようです。でもホヤのおかげで、  
おねえちゃんたちみたいに、ごはんをたんさ  
ん食べれることがわかりました。  
八才のたん生日にお母さんにリクエストす  
るのは、「ホヤ」です。それを聞いておねえ  
ちゃんもおにいちゃんも、

6

5

「えー。たん生日なのにホヤ。」  
とびりするとおもいますが、わたしはたん  
生日にゼったいにホヤを食べたいのです。ホ  
ヤを食べて体が大きくなりたいです。  
お父さんは、ときどき、  
「恵利佳は、やせているなあ。」  
と心ばいしています。でも、ごはんを食べれ  
ることがわかったので、らい年のたん生日ま  
でには、大きくなると思います。  
だから、わたしのたん生日は「ホヤ」です。